

「第30回環境教育・環境学習ネットワーク会議」議事録

- 1 日 時：令和元年11月1日（金） 15:00～17:00
- 2 場 所：横須賀市消防局庁舎3階第3会議室
- 3 出席者：天白座長、桐谷副座長、内船構成員、遠藤構成員、加藤構成員、高橋直人構成員、高橋正明構成員、奈良谷構成員、野崎構成員（計9名）
- 4 事務局：環境政策部環境企画課（松尾課長、鈴木係長、大場主任、九富）
- 5 傍聴者：なし

◆ 会議の流れ

- 1 開会
横須賀市環境政策部長あいさつ
- 2 第6期構成員及び事務局職員紹介
- 3 議題
(1) 座長及び副座長の選任について
(2) 傍聴実施要領及び議事録の取扱いについて
(3) 環境教育・環境学習マスタープランの進行管理について
(4) (仮称)新環境基本計画の策定にかかる環境教育・環境学習マスタープランの取扱いについて
- 4 報告
(1) 令和元年度教員向け人材育成講座について
(2) 令和元年度相互交流を生かした人材育成講座について
- 5 その他

◆ 議題（1） 座長及び副座長の選任について

第6期構成員（令和元年8月1日～）による初の会議となったため、「環境教育・環境学習ネットワーク会議設置要綱」第4条第1項の規定に基づき、座長及び副座長を互選し、以下の2名が選任された（また、同要綱第4条第2項の規定に基づき、座長が議長となり会議を進行）。

座 長：天白 牧夫 氏（学識経験者(生物資源科学)）

副座長：桐谷 範彦 氏（日産自動車株）

◆ 議題（2） 傍聴実施要領及び議事録の取扱いについて

[事務局からの説明]

資料2参照

特段の意見等はなく、事務局案のとおり承認された。

◆ 議題3 環境教育・環境マスタープランの進行管理について

[事務局からの説明]

「環境教育・環境学習マスタープラン」は、上位計画である「横須賀市環境基本計画」の施策と併せて進行管理し、公表していくこととしている。現在、年次報告書として作成・公表に向けて作業を進めているので、その状況について説明する。

天白座長

年次報告書として公表する資料について、ご意見やご質問はあるか。

野崎構成員

年次報告書は完成しているようだが、内容について今からご意見を出しても良いのか。

事務局（松尾課長）

年次報告書の裏表紙をご覧くださいと発行は「令和2年3月」となるため、現時点では案である。現在、上位計画の環境基本計画も環境審議会でご意見をお聞きしながら、環境教育・環境学習マスタープランの年次報告書と並行して作成している。

発行までは4か月あるためその間にご意見があれば事務局までご連絡をいただきたい。

天白座長

環境教育・環境学習マスタープランをご覧くださいと各事業の内容が非常に広範多岐に亘るもので、生物多様性の調査から海岸の清掃まで幅広いことがお分かりいただけると思う。このような活動は掘り下げて書こうとするとボリュームが増えてくるものだが、それに比例して事務局の実務が増えてくると思う。

環境教育・環境学習ネットワーク会議は市長の諮問機関ではないが、適宜、人員や予算を増強し、周辺のNGOや団体等との連携の促進などを拡充して、より発展していただきたい。お気づきのことがあれば事務局までお願いしたい。

◆議題（4）（仮称）新環境基本計画の作成にかかる環境教育・環境学習マスタープランの取扱いについて

〔事務局からの説明〕

環境教育・環境学習マスタープランは平成28年3月に見直し、計画期間は上位計画である環境基本計画と同様に令和3年度までとなっている。この会議では、今後策定していく（仮称）新環境基本計画に盛り込んでいく環境教育・環境学習の推進施策などについて、意見等をいただきたい。

現段階での次期マスタープランの考え方については、現行の環境基本計画では環境教育・環境学習を「施策の分野」の1つとしているが、環境教育・環境学習は他の「施策の分野」全体に関わることから、マスタープランという冊子の形でなく、（仮称）新環境基本計画の1つの柱とし、この部分を環境教育促進法における行動計画としても位置付けることを検討していきたいと考えている。

検討に当たっては、基本的には環境審議会で審議していただくことになるが、この会議では、環境教育・環境学習の推進に必要な施策や具体的な取り組みなどについて、ご意見をいただき、参考にしていきたいと考えている。

天白座長

ただ今の説明に対して、ご意見等はあるか。

現行の環境基本計画では、基本目標5、施策の分野（1）に「環境教育・環境学習」が位置付けられているが、（仮称）新環境基本計画では上位の基本目標6に格上げになり、それに伴い、基本的な考え方は環境審議会で審議されるが、具体的な取り組みについては

この会議で議論いただくとの説明であった。内容に切り込んだ意見をいただきたい。

野崎構成員

この会議と環境審議会を結びつけてくださる方がいるのか。

事務局（鈴木係長）

天白座長が環境審議会委員であるため、この会議で具体的な事業について各構成員の立場からご意見をいただき、それを天白座長から環境審議会に繋げていただきながら、今後、環境教育について進めていくべきことを詰めていきたい。

野崎構成員

よろしくお願ひしたい。

事務局（松尾課長）

環境教育・環境学習マスタープランの上位計画である環境基本計画には「自然とみどり」、「生活環境（大気・水）」、「温暖化対策」、「廃棄物」、「市民、事業者、市の協働」の5つの基本目標があり、「環境教育・環境学習の推進」は基本目標「市民、事業者、市の協働」の中に含まれることから、それを補完する計画として環境教育・環境学習マスタープランがある。

令和3年度で現行の環境基本計画の計画期間が終了し、同様に環境教育・環境学習マスタープランも終了することになるので、令和4年度からの（仮称）新環境基本計画を策定する中で、環境教育・環境学習マスタープランについては基本目標の1つとして「環境教育・環境学習」を作り、そこに位置付けてはどうかと考えている。

今後、（仮称）新環境基本計画は環境審議会で審議していただくが、「環境教育・環境学習」が基本目標の1つになれば、マスタープランの冊子はなくても良いのではないかと考えている。また、環境教育・環境学習マスタープランは環境教育促進法に基づく行動計画として位置付けているため、基本目標の1つとすることで、この部分を法に基づく行動計画として位置付けていくというのが、事務局からの先程の説明であった。

この会議では、色々な立場の皆様が構成員になっていただいているので、（仮称）新環境基本計画の基本目標の1つになる場合には、目標や指標を、施策や取組などについて、ご意見やご提案を皆様からいただくとともに、事務局から環境審議会に報告するなどして盛り込んでいきたい。

天白座長は環境審議会委員でもあるので、環境審議会においてもこの会議でのご意見やご提案を伝えていただき、また、環境審議会が出た意見をこの会議にフィードバックしていただきたいと考えている。

今後の検討としては、環境基本計画の基本目標「自然とみどり」は環境審議会の部会で、「生活環境」の大気や水質は、国の環境基準の順守となるが、「温暖化対策」は環境審議会の部会で、「廃棄物」は資源循環部所管の廃棄物減量等推進審議会で、そして「市民協働・環境教育」はこの会議でご意見をいただくとともに、現行の5つの基本目標に関しては、市民や事業者の方からもアンケート等によりご意見をいただく形になる。

環境教育・環境学習マスタープランは令和3年度末で計画期間が終了するため、次期マスタープランの取扱いと（仮称）新環境基本計画との関係についてご説明したが、本日も

意見があればいただきたい。施策や事業、取り組みについては次回以降、事務局からお示しし、ご意見等をいただきたいと考えている。

天白座長

環境審議会と密接に関わりながら進めていくとのことだが、次回のこの会議は来年2月の開催を予定しているが、環境審議会はいつ頃開催の予定なのか。

事務局（松尾課長）

来年1月又は2月を予定している。環境審議会とこの会議のお互いのご意見をフィードバックし合いたいため、概ね同じスピード感で開催していきたいと考えている。

高橋正明構成員

「環境教育・環境学習」を1つの基本目標にするかもしれないとの話だったが、その場合、しっかりした基本目標を立てなければいけないと思う。基本案は事務局が作成し進めていくのか。

事務局（松尾課長）

「環境教育・環境学習」は、現行計画の基本目標1から4の全てに関係してくる分野であるので、そのことも含め、計画への盛り込み方や書き方など事務局で案を作り、案に対するご意見をいただきたいと考えている。

高橋正明構成員

天白座長は、環境審議会委員とこの会議の構成員を兼ねているとのことだが、私は横須賀市地球温暖化対策地域協議会の会員で温暖化対策に非常に興味がある。

基本的な進め方の中で、パリ協定が締結され進めることになったので、今までの「低炭素」より「脱炭素」をキーワードに（仮称）新環境基本計画を立てるような進め方をぜひ提案していただきたい。

事務局（松尾課長）

高橋正明構成員は横須賀市地球温暖化対策地域協議会から構成員として出席いただいている。なお、横須賀市地球温暖化対策地域協議会会長は環境審議会委員として参加していただいているので、環境審議会では協議会会長からも天白座長からもご意見がいただけるものと思う。

「低炭素」から「脱炭素」とのご意見については、現在、本市の地球温暖化対策の計画名が「低炭素で持続可能なよこすか戦略プラン」となっているが、「低炭素」、「脱炭素」、「SDGs」などがキーワードになってくるかと思う。これについては環境審議会やこの会議、また、横須賀市地球温暖化対策地域協議会でも今後ご意見を伺っていきたいと考えている。同時期に新計画策定や計画見直しを行っていくので、整合を図りながら10年後、20年後を見据えた計画を策定していきたいと考えている。

天白座長

環境審議会には、温暖化対策部会とみどり政策推進部会の2つの部会があり、私はみど

り政策推進部会に入っているが、前回の環境審議会で温暖化対策は大きな話題となっていたので、今後、議論が進んでいくと思う。

環境教育・環境学習は、温暖化対策やみどり全体に係る問題なので、総合的な視点で忌憚のない意見をいただきたい。

第6期のこの会議の大きなテーマは（仮称）新環境基本計画策定に伴い、「環境教育・環境学習マスタープラン」の内容が関わってくると思うので、よろしくお願ひしたい。

お気付きのことがあれば、事務局へ連絡をお願ひしたい。

◆報告（1） 令和元年度教員向け人材育成講座について

〔事務局からの説明〕

概要、講座概略については、[資料5](#)を参照

参加者からのご意見にもあるとおり概ね好評であった。開園60周年を迎える馬堀自然教育園で開催し、講師は博物館学芸員にお願ひした。座学とフィールドワークを通じて園内の自然環境を知ることができ、教員と学芸員との繋がりができる機会となった。

天白座長

ただ今の報告に対して、ご意見等はあるか。

ご意見等がないようなので、次の報告をお願ひする。

◆報告2 令和元年度相互交流を生かした人材育成講座について

〔事務局からの説明〕

第28回のこの会議で今年度の見学先として候補となった「JAMSTEC横浜研究所」との調整を行った結果、令和元年11月19日（火）の開催が決定したので報告する。

天白座長

ただ今の報告に対して、ご質問等はあるか。

ないようなので、参加希望の方は事務局まで連絡をお願ひしたい。

本日の議題、報告は以上だが、他に何かご意見等はあるか。

高橋正明構成員

「資料5 報告1 令和元年度教員向け人材育成講座の実施結果について」の4考察に「学芸員を学校に派遣できるという話にもなり、教員と学芸員の繋がりをつくる機会となったのではないか」とあるが、大事なことが書かれていると思う。学芸員の方は物凄い専門知識や専門分野に情熱を持っている。そのような方が学校の先生と一緒にこのようなことを行うことは、ものすごく良いことだと思うので、ぜひ進めていただきたい。

事務局（松尾課長）

先日、別件で博物館に伺ったが、自然博物館、人文博物館にはそれぞれ貴重な資料が所狭しと置いてあり、昔懐かしい道具や動物のはく製などもあったので、子どもからお年寄りまで見ていただけるような「博物館ツアー」などがあると良いと思った。

天白座長

博物館では、最近、ナイトミュージアムやバックヤード見学など活発に活動されているが、内船構成員、いかがか。

内船構成員

博物館には資料がたくさんあり、その一部を展示している。

バックヤードツアーは、その他のたくさんの方の資料を見ていただくため、夏休み期間に子ども向けに行っていた行事だったが、今年度は5月のゴールデンウィークにも開催し、より多くの方に横須賀の宝を見ていただく機会を作っている。

今、座長から話があったが、明日ナイトミュージアムを開催する。今年で3回目だが、事前申し込み制で既に定員120名に達している。博物館では、最近、積極的に見せる方向で動いている。その中で、色々な意見を頂戴しながら皆さんのニーズに応えていきたい。

天白座長

学芸員も最近若い方が入られ、活気が戻ってくると思う。

横須賀市の自然・人文博物館は知名度があまり高くはないが、全国的には非常に優れた内容や歴史の誇れる施設なので、ぜひ皆さんに活用していただきたい。

今、馬掘自然教育園の特別展が開かれていたが、自然教育園2か所を所有しているのは、全国的にも横須賀市のみではないか。非常に稀であり、しかも入館は無料である。良い施設なので予算も増やしていただき、これからもっと活用して欲しい。

桐谷構成員から情報提供があるので、説明をお願いします。

桐谷構成員

外来植物の駆除と観光と電気自動車を組み合わせたイベントを実施したので紹介する。

[内容について紹介]

野崎構成員

明日から湘南国際村の自然ふれあい楽校で「オータムフェスタ」が始まるが、桐谷構成員から声を掛けていただき、工作やお湯を沸かす電源として日産自動車の電気自動車から電源を供給してくださることになった。

市民活動団体と企業の繋がりができると大変心強いし、環境教育活動にぜひ力を貸していただきたいと思う。また、こちらも協力したい。

天白座長

この会議から新たな協働の活動が生まれているのは大変嬉しく思う。

他にご意見はあるか。

野崎構成員

前回の会議でも話したが、廃棄物についての状況が今年度から変わるので、環境審議会の中でも力を入れて考えていくと良いと思う。具体的には、海洋プラスチック汚染が大変問題になっているが、今までは「容器包装プラスチック」と「不燃ごみ」に分けて出していたが、新しい処理場ができたことで、プラスチックの廃棄の方法に関しては少し進んだ

と感じるものの、いかにプラスチックの廃棄物を減らすかに焦点をあてて進めていくことが大事ではないかと思う。

葉山町では、市民に家庭から出るプラスチックをいかに減らすかを呼び掛け、具体的な方法や目標を町民に示している。

事務局（松尾課長）

長坂のごみ焼却場が稼働を始め、これまでの南処理工場（久里浜）は閉鎖した。ごみは人口減少に伴い減ってきているが、市民や子どもたちにとって次の環境を守っていくためには、環境教育・環境学習に捉われず知る機会が増えると良いと思う。この会議でもご意見等があれば、所管する資源循環部や環境審議会でご意見を伝えることもできると考えている。

今日から構成員としてご参加していただいた株式会社オカムラの遠藤構成員におかれても、この会議で知り合いになった中で、次へ広がっていくきっかけになればと思う。

また、保育園園長の加藤構成員には、野崎構成員が園児を対象に色々な啓発の活動をされているので利用していただいたり、また、構成員には色々な方々がいるので、こうした繋がりの中で、保育園や幼稚園でできることなどがあればご意見をいただきたい。

内船構成員

馬掘自然教育園の特別展示「おいでよ！まぼりの森－馬掘自然教育園の60年とこれから－」が夏からスタートし、この3連休でフィナーレを迎えるので、まだ、お越しでない方に声を掛けていただけたら幸いである。

11月16日に博物館で明治大学平和教育登戸研究所資料館の館長の講演会を開催する。馬掘自然教育園は陸軍の跡地であり、その縁で陸軍施設であった登戸研究所資料館とコラボレーションを行っている。当日は横須賀市との関係についてお話をいただくので、お越しいただきたい。

天白座長

では、事務局から事務連絡をお願いします。

◆その他 事務局から事務連絡

事務局（大場主任）

事務連絡が3点ある。

1点目は、本日の議題について追加のご意見等があれば11月8（金）までに事務局へご連絡をいただきたい。

2点目は、9月に発行した「よこすかECO通信第34号」を参考に配付したので、ご覧になっていただきたい。次号35号は12月発行予定だが、後日、内容確認のメールをお送りするのでご意見、ご指摘があれば事務局までお願いしたい。

3点目は、次回の会議の開催は令和2年2月を予定している。改めて日程調整を行うのでよろしくお願いしたい。

天白座長

以上をもって、第30回環境教育・環境学習ネットワーク会議を終了する。